

防衛大臣政務官
衆議院議員

小林鷹之 国政報告

討議資料

自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・習志野市・八千代市)

小林鷹之からの手紙 Vol.33

「未来への投資を実現する経済対策」

7月の参議院選挙に続き、8月の臨時国会も閉会しました。参院選では与党が議席数を伸ばす結果となりました。前号にも記した通り、これだけの議席数と物事を前に進める力を頂いたからこそ、国民の皆様の声に、更に謙虚に耳を傾ける姿勢が求められると思います。

8月3日の内閣改造により発足した「未来チャレンジ」内閣の最優先課題は、経済です。第2次安倍政権発足以来進めてきた経済政策により、雇用や所得は数字で見れば着実に改善してきていますが、少子高齢化や海外経済の減速などによって、個人消費や民間投資はまだまだ力強さが足りていません。また、地域の中小企業経営者、商店街、農家、年金暮らしの方などとお話しても、暮らしが良



① 防衛大臣政務官として栄誉礼を受けました ② 第3次安倍第2次改造内閣 大臣政務官 ③ 防衛大臣政務官室にて

国外犯罪被害弔慰金支給法案



投票総数 238
賛成 238
反対 0

「国外犯罪被害弔慰金等支給に関する法律案」採決(左:衆議院内閣委員会、右:参議院本会議で可決成立)

国外において不慮の犯罪被害を受けた被害者等に対する特別給付金の支給について

平成28年7月12日
閣議決定

平成28年7月2日(日本時間)に発生したバングラデシュ・ダッカにおける襲撃事件の被害の状況に鑑み、国外犯罪行為(国外犯罪被害弔慰金等の支給に関する法律(平成28年6月7日法律第73号。以下「法」という。))第2条第1項に規定する行為をいう。以下同じ。)により不慮の死を遂げた日本国民の遺族又は重度の障害が残ることが明らかな日本国民に対し、法の施行までの間、政府は、下記により特別給付金を支給することができるものとする。

青年局

青年局提言

平成28年3月12日
自由民主党青年局

少子高齢化に伴う人口構造の変化や、巨額の公的債務に直面する中で、未来を担う若い世代が、将来に対して漠然とした不安や閉塞感を抱える状況にある。特に地方においては、こうした傾向が顕著であり、危機感が募っている。党青年局としては、全国ブロック会議等の場で上がった、地域に根差して汗をかく青年地方議員や青年党員の同志からの切実な声を踏まえ、共に危機を乗り越えるための政策を実現しなければならぬと考える。そこで、若い世代の不安を希望へと転化し、彼らが未来を切り拓いていける環境を整え、今日よりも明日が良くなる社会を目指して、以下提言する。



自民党青年局政策部長として提言をまとめました。

ダッカの事件においては、7名の邦人の方が尊い命を失われる結果となりました。強い憤りと深い悲しみを覚えます。

こうした中で、政府はご遺族の方々に弔慰金(200万円)をお渡しすることを閣議決定しました。これは、私が、故・鳩山邦夫議員と二人三脚で2年かけて取り組んでまいりました「国外犯罪被害弔慰金等に関する法律」が、前国会の最終日ギリギリで成立(平成28年6月1日)したことを受けたものです。まだ法律は施行されていませんが、法律の趣旨を汲んでくれた政府に感謝しています。

これからも、議員立法に積極的に取り組んでまいります。



小林鷹之と語る会

小林鷹之事務所では、小林本人による国政報告と皆様からのご意見を伺うためにミニ集会の開催をお願いしております。5人以上であれば、どこへでもまいりますので、右記の地元事務所までご連絡ください。



国会見学

小林鷹之事務所では、国会見学の受付やルート相談も承ります。見学をご希望される方は、団体名、代表者名、参加人数(男女別、大人子供別)、参加希望日時、ご連絡先を右記の国会事務所までご連絡ください。

ボランティア募集

小林鷹之事務所では、小林鷹之の活動をお手伝いして頂ける方を募集しています(広報紙配布、ポスター貼り、イベントのお手伝い等)。また、小林鷹之のポスターをご自宅や会社に掲示させて頂ける方も、併せて募集しております。ご連絡は地元事務所までお願い致します。

地元事務所
〒276-0033
千葉県八千代市八千代台南1-3-5 YYビル1階
TEL 047-409-5842
FAX 047-409-5843

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館417号室
TEL 03-3508-7617
FAX 03-3508-3997

Facebook

www.facebook.com/hawk.kobayashi

twitter

twitter.com/kobahawk

HP

kobayashi-takayuki.jp



なくなったという声はまだまだ大きくありません。「いまだ道半ば」。これが景気回復に関する私の現状認識です。

未来への投資を実現する経済対策

こうした認識を政府・与党で共有しながら、8月2日に約28兆円規模の経済対策を閣議決定しました。いわゆる「バラマキ」のような旧来型の対策ではなく、「未来への投資」という観点からの優先順位を明確にしたものとなっています。加えて、財政規律を堅持しなければなりません。「28兆円」という数字は、民間の支出も入れた事業ベースの数字であり、国費の負担（いわゆる「真水（まみず）」と呼ばれるもの）は約6兆円です。与党内には真水を大胆に増やすべきだとの声も多々ありましたが、私は、今回6兆円程度に「抑えた」ことを持続可能な国家経営の視点から評価しています。

いずれにしても、暮らしの先行きに不安を抱える方が少なくない中で、経済対策を通じて、将来への不安を払拭し、個人消費を促し、経済を活性化していくことが重要です。

今回の対策で、私が重視しているのは、①子育て・介護の環境整備、②21世紀型インフラ整備、③中小企業支援の3つです。

①については、特に若い方々が持てる力を最大限発揮できるように、保育と介護の受け皿拡充（ともに更に50万人分を確保）や処遇改善（保育士についてはこの3年間の7%改善に加えて2%アップ、介護従事者については平均月額1万円）が急務です。財源を確保し、確実に実施してまいります。

②については、報道されているリニア中央新幹線の全線開業の前倒しだけではありません。例えば、我が国の農業の可能性を追求していくためにも、海外の需要を開拓していきます。農林水産物や食品の輸出額が平成31年には1兆円を突破するよう、食料加工施設や卸売市場などの輸対応型施設を整備すると共に、空港や港への物流ネットワークも強化していきます。

す。農業だけではなく、例えば、交通インフラ、電力供給システムや医療システム等、日本企業の強みを活かした、質の高いインフラの輸出を全面的に後押しし、オールジャパンで世界と勝負していく体制を強化します。

③については、中小企業こそが日本経済を屋台骨として支えていることを認識しつつ、世界経済の不安定性や新興国経済のリスクに備えるための資金繰り支援の他、経営力強化や生産性向上のための支援として、事業主の雇用保険料の時限的引下げや下請け等取引条件の改善を図ります。

上記3項目を含む経済対策によって民間投資や消費の喚起、生産性向上が生まれ、結果として、雇用や所得の更なる向上をもたらす持続的な経済成長の形を実現してまいります。

防衛大臣政務官就任

先般の内閣改造で、防衛大臣政務官を拝命しました。東シナ海や南シナ海において海洋進出を進め、力を背景とした一方的な現状変更を試みる中国。核・ミサイル開発を続け、既に核兵器の小型化・弾頭化の実現に至っている可能性もあると考えられる北朝鮮。我が国を取り巻く国際情勢は日に日に厳しさを増しています。国民の生命・財産、国家の領域・主権を守り抜くことは国政に課されている最重要課題の一つです。在日米軍再編問題を含め、腰を据えて取り組まねばならない課題が山積する中で、稲田朋美防衛大臣をしっかりと支え、我が国及び世界の平和と繁栄に貢献できるよう粉骨砕身働いてまいります。

国家の危機管理を担う省であるため、土日祝日を問わず、防衛省（市ヶ谷）を離れることが難しい日が多くなり、地元行事に顔を出せなくなることも増えると思いますが、ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成二十八年八月吉日

防衛大臣政務官

衆議院議員 小林 鷹之



④ トニー・アボット前オーストラリア首相と⑤ 自民党犯罪被害者支援PT事務局長として官邸に要望⑥ 自民党幹部へ政策説明（小林は右中央の発言席）⑦ 都内の企業にて社員の方々に講演⑧ 東京で第5回朝食勉強会を開催。講師：マネックスグループ株式会社代表執行役社長CEO 松本大氏⑨ 自民党若手議員代表として討論番組に出演。上：BS11「報道ライブINSIDE OUT」下：AbemaTV「AbemaPrime」⑩ 稲田朋美政調会長（当時）に地元でご講演頂きました⑪ 参議院選挙応援演説⑫ 週末は地元で国政報告会⑬ 毎朝の駅頭と週末の街頭演説⑭ 地元企業の現場へ⑮ 地元の夏祭り 左：習志野市のサンバパレードに参加 右：各地で神輿